

# おいでよ！！うつぐみの郷・9月

9月6日（土）～ 9月7日（日）

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	選択プログラム	天文館パオへ
2日目	お米収穫体験	清掃・施設出発・解散	

**一日目：** おはようございます。今日から二日間、沢山の食物に触れていただき、農作業を頑張ってください。前日までの台風から一転、晴れ渡る空です。京都、尼崎、宝塚と集合し、現地へ向かいました。夏に比べ、少し色褪せた景色を見る事が出来、夏から秋へ移り変わっている様子を見る事が出来ました。ただ、まだまだ残暑を感じ、今回も暑そうです。施設に到着し、昼食を済ませ、作業着に着替え、農業体験を実施しました。今回は、【芋畑の整地】、【広場の草刈り】、【畑の種蒔き】です。どれも繰り返し作業が多く、暑さも相成り、大変ですが、誰一人文句を言うことなく、真面目に取り組んでおられました。草刈りでは、回転刃の草刈り機や大型芝刈機を使用体験が出来ました。初めは機械の力強さに手を取られていましたが、徐々に使い慣れ、後半は上手に扱われていました。種蒔きをするために、土に肥料や石灰を撒き、耕運機で混ぜ込み、鍬で畝作りをしました。全てが力作業で、お疲れの色が見られましたが、最後までやり切りました。夕方に作業を終え、シャワーを浴びました。夕飯は人数の倍近い量を準備していましたが、日中沢山動いたので、ペロリと完食されました。夜は天文館へ向かいました。今夜は月がとてもキレイで、望遠鏡で月の表面がハッキリと見る事が出来ました。明日は稲刈りで、体を沢山動かします。早めに休んで、体力を回復させましょう。



**二日目：** おはようございます。朝は清々しい青空で、気温もそこまで高くなく、過ごしやすかったです。今日も暑くなりそうなので、しっかり朝食を食べて、力を蓄えてもらいます。朝食はちょっと豪華な【パックサンド】です。いつもよりボリュームがあり、食べ応えはあったのですが、おかわりをされる方が沢山おられました。食後は作業着に着替え、皆で田んぼへ向かいました。五月に植えた稲はしっかり穂を実らせており、一面金色に輝いていました。横一列に並び、一つ一つ丁寧に刈りました。沢山刈ろうとすると、刈り残しが出てしまうので、気を付けながら進めました。日射しが強く、皆の体力を容赦なく奪っていきます。適度に休憩を挟みつつ、皆、黙々と刈り進めていきました。昼前になんとか刈り終わると、次はコンバインに刈った稲を運び、米を分ける作業です。次々と運び入れるので、これも重労働です。更に暑さが増す中、疲れもピークに達しています。それでも皆、懸命に動き、非常に頑張りました。ようやく全ての行程を終え、最後に刈った稲を米袋に入れる様子を見せてもらいました。沢山の米袋が出来、頑張りが大いに実りました。施設に戻り、シャワーを浴び、少し休憩を挟み、昼食にしました。メニューはカレーで、皆すごい勢いで召し上がっており、何度もおかわりをされていました。稲刈りに予想以上の時間がかかったので、食後は軽く掃除を済ませて、施設を出発しました。帰りの車内は、半分以上の方が休まれていましたが、途中の休憩以降は、元気に談笑を楽しんだり、歌を唄ったりして帰りました。



## <キャンプ総括>

今年の稲刈りは本当に暑かったです。誰一人文句を言わず、最後までやり通しておられた姿は、本当に素晴らしかったです。一日目の農業体験も然りですが、高学年やリピーターのメンバー達が、率先して黙々と取り組まれているので、サボったり、文句を言ったりする空気がないので、他の方も頑張ろうとする雰囲気が生まれているのだと思います。そうした雰囲気は大変ありがたいのですが、本当にしんどい時にも言えなくなってしまう恐れがあります。そうならないよう、適度な休憩はもちろんのこと、我々が皆さんの体調に目を配らないといけません。何事にもメリットとデメリットは存在します。そこを見落とさないよう取り組んで参ります。うつぐみも皆さんにとって、大分過ごしやすい環境になってきました。「もっとうつぐみにいきたい!」と言ってもらえる場所になれるよう、更に改善して参ります。 (竹中 哲郎)